

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三井・ダウ ポリケミカル株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番21号

(3) 業種

1635 プラスチック製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 30(2018) 年度を基準年度とし、平成 30(2018) 年度から令和 4(2022) 年度までの 5 年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実績排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実績排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産量**

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 基準年度の実績 (a) 平成30年度 (2018) 平成30 年度 (2018)	目標年度 目標 (b) 上段：目標 削減率 (c) 下段：削減	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e)) 計画期 間の実績 (上段：原単位実績 (d) 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
		令和4年度 (2022) 令和4年度 (2022)	平成30年度 (2018) 平成30 年度 (2018)	令和元年度 (2019) 令和元 年度 (2019)	令和2年度 (2020) 令和2年 度 (2020)	令和3年度 (2021) 令和3年 度 (2021)	令和4年度 (2022) 令和4年 度 (2022)
起源CO ₂ エネルギー		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
品目A品目A	1.014	1.010 -0.4	1.014 0.0	1.007 0.7	0.951 6.2	0.878 13.4	100.0
品目B品目B	0.953	0.952 -0.1	0.953 0.0	0.892 6.4	0.657 31.1	0.770 19.2	100.0
起源CO ₂ 非エネルギー		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	406.1	404.0 -0.5	406.1 0.0	411.4 -1.3	420.4 -3.5	409.4 -0.8	100.0
実績に対する 自己評価	生産数量の減少および、原単位の高い銘柄の生産が増えたため、エネルギー原単位が悪化した。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気及び蒸気使用量の削減	106 k1/年（原油換算） 令和三年度実績分	・効率運転による原単位向上
2	電気使用量の削減	実施率100%	・昼休憩時の消灯の徹底
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。